



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第19号 (H22.9.8)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

# しつ じつ ごう けん 質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」

## 文化祭



### 感動の都泉祭終わる！

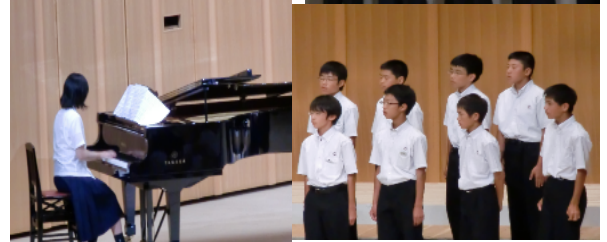
9月3日、4日、5日の3日間、都泉祭テーマ「泉載一遇～いざ沸き起こせ！！歴史に残る感動を～」のもとに文化の部・体育の部を行いました。準備期間は充分ではありませんでしたが、文化の部・体育の部、生徒たちの精一杯の取り組みが見られました。

「泉載一遇」とは このテーマは「千載一遇」の「千」を「泉」にしたものです。千載一遇は、「千年に一度しかない巡り会えない程の絶好の機会」という意味で、今年のスローガンには、今年の都泉祭を千年に一度しかないような感動を起こすものにしたいという願いが込められています。

#### 【文化の部】

中学生は、合唱コンクールに参加しました。高校生に混じって、それも最後のトリで歌うことができ、最高だったと思います。歌は「手紙」で最高の歌声とがんばろうという思いがひしひしと感じられ、皆さんから最高の拍手をいただきました。本当に感動しました。また、展示については、約2

万枚の写真を使ったモザイクアートに全員で取り組みました。テーマは「世界に羽ばたく附属中」素敵な作品ができあがりしました。写真はすべて、泉ヶ丘に関する写真ばかりです。



指揮者：吉永愛里彩 合唱曲「手紙」  
伴奏者：廣田佳穂



このモザイクアートは、妻ヶ丘地区ふれあい祭りに出品します。

## 【体育の部】

9月5日の体育の部は、天候にも恵まれ生徒それぞれが自分の力を十分に発揮し、優勝という一つの目標に向かって一致団結した体育祭でした。さて、今年度から、はじめて中学生と高校生との合同による体育祭を行いました。従来の泉ヶ丘高校の種目の中で、中学生でも競技可能であり、高校生とともに競い合える種目や中学生に配慮し高校と一緒に楽しめる種目も取り入れました。中高合同のよさが十分にさせた体育祭になりました。これも、体育祭の企画と運営を行う先生をはじめ、実行委員である高校生の力が大きいと思っています。

もちろん、棒リレーや玉入れなど、高校生との間に体力面、技術面などの差はありますが、中学生の姿に少しでも高校生と競い合おうとする力強さを感じることができました。生徒にとって、必ずや思い出に残る体育祭になったことと思います。

これからの行事等も、中学校と高校が連携して、そのよさが十分に発揮できるように企画立案し運営していきたいと思っています。

最後になりましたが、保護者の皆さま、当日は暑い中、生徒の活躍の場をご覧いただき、ありがとうございました。今後とも、どうぞご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



### 興 栞 七 海

～私が一番楽しかったのは合唱です。～合唱は2週間前くらいから練習を始めました。最初のとき、私は全く音が分からなくて、どうしようかと思いましたが、他のソプラノのメンバーが教えてくれたのである程度歌えるようになりました。そして、本格的に児玉先生に授業を受けるようになって、歌い方についていろいろ指導して下さったので、すごく歌いやすくなりました。本番直前はとても緊張しました。けれども歌ってみたら、意外に緊張とかを忘れられたので良かったです。～今年は何もわからないままやったので、練習時間が少し短かった気がします。来年は展示も歌の練習も計画的に進めて、もっと完成に近づけたらいいと思います。

### 入 江 彩 花

～展示では、モザイクアートをすることになって、切ってはっての地道な作業をがんばって、すごく立派な作品ができたと思います。高校生も作品を見てすごいと言って驚いていたので、がんばって良かったと思いました。～だけど、一番楽しかったのは、高校2年生の製作でした。～見るだけでもすごく良かったです。～来年は合唱も製作も、今年より更によくするように、みんなで力を合わせてがんばりたいです。

### 榮 福 和 希

～合唱の良かったところは、みんなが協力してできたところだ。音がとれてない人に音を教えてあげたり、みんなで注意したりした。反省すべきところは、最後の方になってから練習をしたのでバタバタしてしまったことだ。また、すぐにまとまらないことがあったので時間を無駄にしてしまった。～総合的に考えて来年はこうしなければと思ったことは、合唱や作品を都泉祭までにどういうスケジュールで準備していくかということだ。～今年度は手探り状態だった中よくできたと思う。来年は、後輩たちのお手本となるようなことをしていきたい。

### 湯 地 晃 太 郎

～合唱は前の曲が、「合掌 さる」という曲でとても暗かったので、この雰囲気明るくすることができるかなあと冷や汗をかいた。あっという間の出番だった。なるべく落ち着いて歌ったのできれいに歌えたと思う。他の高校生の人たちも、うれしそうに聞いてくださった。～この二日間いろいろな物を見て、高校生ってすごいなあということが分かった。でも歌もアンジェラ・アキの「手紙」をよく歌えたなあとほっとしている。展示物も満足いくものだった。でもやはり高校生のようすばらしい歌や、楽しい展示物などを来年はもっと一致団結して作りあげていきたい。